

総合資格学院は東洋大生の資格取得を全面的にサポートいたします!

平成24年度
1級建築士 設計製図試験

埼玉県
合格者占有率

No.1

埼玉県の合格者の6割以上は、
当学院の現役受講生でした。

埼玉県合格者272名中、当学院現役受講生167名



埼玉県
合格者
占有率

61.4%

We are No.1 architect school.

平成24年度も当学院の講習システムの優位性が証明されました!!

東洋大学

平成24年度 1級建築士合格者

当学院利用率

76.3%

卒業合格者38名中、29名が
当学院の講座を利用して
合格されました!!



※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

無料 体験入学会・
講座説明会 実施中!!
実績が証明した、当学院講座品質。ぜひ、体験してください。

1級・2級 建築士

1級・2級 建築施工管理技士

宅地建物取引主任者

1級 土木施工管理技士

インテリアコーディネーター

法定講習

建築士法に基づく 管理建築士講習

建築士事務所の管理建築士になるためには、建築士として3年以上の所定の業務経験を積んだ後、管理建築士講習の受講が必要です。

建築士法に基づく 一級・二級建築士定期講習

改正建築士法により建築事務所に所属する建築士は、3年度ごとの建築士定期講習の受講が義務付けられました。

第一種電気工事士定期講習

第一種電気工事士は「5年ごと」の受講が必須。第一種電気工事士免状の交付を受けた方が対象です。

株式会社 総合資格学院法定講習センター
http://hotei.shikaku.co.jp TEL.050-5541-7500

資料請求・お問い合わせはこちらから!

総合資格学院

川越校 TEL.049-291-5211
〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町10-16 BOビル 1F

さいたま校 TEL.048-642-9811・越谷校 TEL.048-990-6971・熊谷校 TEL.048-599-3531・所沢校 TEL.04-2997-2400・新宿校 TEL.03-3340-5671
池袋校 TEL.03-3982-8211・上野校 TEL.03-3832-7201・北千住校 TEL.03-5284-3911・五反田校 TEL.03-3495-8671・吉祥寺校 TEL.0422-23-6011
立川校 TEL.042-524-7841・町田校 TEL.042-724-3061・横浜校 TEL.045-316-6811・川崎校 TEL.044-850-3411・藤沢校 TEL.0466-55-2611
厚木校 TEL.046-297-0511・船橋校 TEL.047-425-8941・千葉校 TEL.043-290-7341・柏校 TEL.04-7168-9111・松戸校 TEL.04-7168-9111(柏校)

総合資格 検索
www.shikaku.co.jp

泉会 IZUMIKAI

2013 No. 29

◆発行日◆2013年4月25日

東洋大学理工学部建築学科同窓会会報「泉会」

題字：故 平山嵩先生

http://www.izumikai.info

平成24年度、東洋大学理工学部建築学科では4年生向け授業「総合設計演習」の一環として、鶴ヶ島市の協力を得てインフラ老朽化と財政改革に取り組む「鶴ヶ島プロジェクト」を実施致しました。以下、ご報告させていただきます。

タイトル：鶴ヶ島プロジェクト2012 郊外都市の将来像を考える

「鶴ヶ島プロジェクト」とは、建築学科の学生たちが市の公開情報をもとに財政分析や他の自治体の先行事例調査に取り組み、それをもとに市内の鶴ヶ島第二小学校(約6,400㎡)とそれに隣接する南公民館(約2,000㎡)を複合化し、面積を75%程度に圧縮した施設設計案の作成を行うというものです。小学校の空き教室を利用して「地域支えあい協議会」の方々に投票で案を選択してもらう「パブリックミーティング」を2012年4月から7月に掛けて、2週間に1回、合計5回にわたって開催しました。藤縄善朗鶴ヶ島市長や外部の建築家を招いて2012年7月18日に開催された「パブリックミーティング」の最終回には約200名の市民、市議会議員、市外からの見学者、学生が集まり、住民たちに繰り返しランキングされ、進化を続けた最終9案に対して最後の投票が行われました。

全国共通の課題であるインフラ老朽化や財政問題に正面から取り組んだ意欲的な試みとして『朝日新聞』社会面記事やNHK「おはよう日本」全国版など、東洋大学建築学科の試みが全国レベルで取り上げられ、大変注目を集めました。次年度は今回の成果を発展させ、大宮駅東口で同様のプロジェクトを行うほか、鶴ヶ島市内でも小さな施設を実際に実施設計・監理まで行う予定です。泉会の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻を頂きますと幸いです。

名称：鶴ヶ島プロジェクト2012

期間：2012年4月-7月

参加者：建築学科・学部4年生55名

協力：鶴ヶ島市・鶴ヶ島市立第二小学校
鶴ヶ島市地域支えあい協議会

担当：藤村龍至[東洋大専任講師]・武井誠[非常勤講師]
設計アシスタント 畑克敏[東洋大学設計支援員]
TA 大山宗之[東洋大学大学院修士課程]



パブリックミーティング
学生の提示する9案に対し投票を行う公開ミーティング。
住民とともに合計5回開催し、案を発展・淘汰させた
提供：東洋大学建築学科

目次	会長挨拶	2	トピックス	16
	「泉会本部」からのお知らせ	3	同窓生だより	18
	寄付講座	13	役員組織図	22
	支部だより	14		

会長挨拶

中山 秀明 (12期)



建築学科同窓会「泉会」の会員皆様には日頃より多方面にわたりご支援、ご協力を戴きまして有難うございます。

今年4月より前会長の細谷 功さん(11期)の後任として泉会の会長を仰せつかりました12期の中山秀明と申します。2年間の副会長の経験を生かしながら、先生方、先輩のご意見を尊重しながら今期の活動がより良いものになるように努力していく所存でありますので、どうぞ宜しくお願い致します。

「泉会」の活動は主に在校生の支援によるところが多く、建築士取得のための“模擬試験”の実施や、卒業生を中心とした講師を招き様々な建築関連の仕事の現状や未来を語っていただく“寄付講座”や、様々な企業を招き行う“就職セミナー”など直接在校生の実社会に結びつくものや、各界の講師を招いた「建築パーティ」や「泉会杯」争奪ソフトボール大会、「泉会卒業設計賞」「泉会卒業論文賞」などを設けて在校生の意識向上や努力目標になるものなども行っております。これらの活動は長年にわたり、先輩方が築き上げたものと敬意を払い今後も継承していきたいと思っております。

また、今年からは、かねてから要望されていた、卒業生同士や学内の先生方を交えた親睦の機会も企画したいと考えております。

今後とも、ご理解、ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

新役員紹介



寺山 誠 (13期)

この度、泉会副会長を仰せつかりました寺山でございます。昭和53年に卒業し、上尾市にある(株)鳥村工業に入社し、建築工事の施工管理、平成9年にはISO取得に向けISO推進室、その後、平成13年にはリニューアル事業部を立ち上げ現在に至っております。今まで仕事の関係で大学とのかかわりはありましたが、泉会の活動とはほとんど無縁でした。今回、初めて副会長という大役を仰せつかり、泉会の活動に参加させていただく機会が出来ました。今後、役員、OBの皆様との出会いを大切に、微力ながら頑張りたいと思っておりますので、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



長谷部 勉 (26期)

私有や自立といった近代化の時代を経て共有や互助へと転換する現代において、我々の同窓会はますます重要なコミュニティになると考えられます。私は主にウェブサイトの運営を担当させていただいておりますが、その中でコミュニティが活性化し本会を補完するシステムに育つことが本会をより豊かなものへと進化させる一助になると思っております。終身会員の皆様のユーザー登録及び積極的な情報発信に期待しておりますので、この場を借りて積極的にご利用いただけるようお願い致します。泉会 URL : www.izumikai.info



齋藤 宏昭 (27期)

泉会の副会長を拝命して2年が過ぎましたが、昨年4月に大学教員へと転職し、他大学ではありますが学内業務について経験を積んでいるところです。一般に、大学教員の評価は教育より研究業績の比重が高く、学生への対応や就職指導については手薄になる傾向があります。OB会は学生と実社会との懸橋として非常に重要な組織であり、泉会による様々な支援の意義を改めて痛感している次第です。今後ともご協力の程、宜しくお願い致します。



伊藤 麻理 (32期)

若い世代に気軽に参加してもらえるよう、新たな企画を提案し、活気のある「泉会」を目指しがんばりたいと思っております。皆様のご支援ご協力をお願いします。

「泉会本部」からのお知らせ

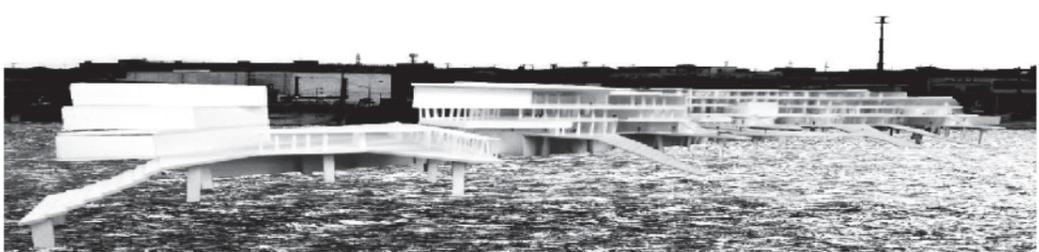
1. 平成24年度年間活動報告

月	工学部(建築学科)「泉会」関連行事	泉会行事、会場、業務活動等
4	新入生オリエンテーション 4/2~5、7 入学式(4月入学) 4/6 授業開始 4/9 「泉会」寄附講座開始:水曜日 15回(4月~8月)	・新入生オリエンテーション会長祝辞(4/3) ◇拡大三役会 4/3(火) 於:川越校舎(スケジュール・会報関係) ・準会員費集金及び記念品(三角スケール)贈呈(役員・学内幹事) ●「泉会」寄附講座開始 ・会報編集委員会 4/19:池袋 ・平成24年度活動計画 他 ・連合育成会役員選出(代議員5名、各種常任委員5名、選管委員1名)
5		*4年生終身会費納入のお願い(各研究室、ゼミ長会議等) ・幹事会案内状メールでの発信 ○幹事会 5/19(土) PM3:00~ 於:浦水会館2階
6	学祖祭 6/6	・川越キャンパス連合育成会代議員会:6月2日(土) ○「泉会」総会・支部交流会 6/23(土) 13:00~ 川越キャンパス 連合育成会大会、東洋大学創立125周年川越版ホームカミングデー 幹事同期会7,17,27,37期、連合育成会合同交流会 ・神奈川支部総会→6/17(細谷会長出席)
7	第1回新入生歓迎建築パーティー	・建築学科まちかど講評会:7/15,16 ・新入生歓迎第1回建築パーティー(準会員支援):7/13(金)
8	夏休み 8/10~9/21	・徳島支部総会
9	9月卒業式・学位記授与式:9/21(金) 秋学期授業開始 9/24(月)	*会報編集委員会発足
10		◇三役会:10/17
11	こもれび祭 11/4~5 研究室対抗ソフトボール大会	・連合育成会イベントへの参加 ・第15回「泉会杯」争奪研究室対抗ソフトボール大会(準会員支援)
12	冬休み 12/26~1/3 第2回新入生歓迎建築パーティー	◇三役会12/6 建設業界説明会(総合資格学院と連携) ○臨時幹事会・OBによる就職ガイダンス:12/22 新会長に12期の中山秀明氏が選出された
1	授業再開 1/4	平成25年度寄附講座講師選考
2	春休み 2/8~3/31	・第2回建築パーティー(準会員支援):2/9 ◇三役会議2/2 ・卒計発表会2/2・卒論発表会2/4 泉会賞選考(準会員支援) *会報編集会議:2/15
3	卒業式・学位記授与式:3/23(土)	*会報編集委員会:3/15 ・3/23 卒業式にて会長祝辞、記念品贈呈、泉会賞授与(準会員支援) 準会員終身会費集金作業

■主な事業活動項目と担当者

事業活動項目	担当者		
	担当三役員	学内幹事	連合育成会
・泉会賞選考・授与	細谷 功	全員	
・新入生オリエンテーション	全員	全員	
・就職ガイダンス+懇親会	全員	全員	
・幹事会	全員	永峯 章	
・定期総会・支部交流・懇親会	齋藤 宏昭	勝瀬 義仁	事務員
・広報・企画(会報「泉会」等)	中山 秀明、伊藤 麻理	全員	
・財務	松下 吉男	藤井 弘義	事務員
・HP維持管理	長谷部 勉	松下 吉男	
・名簿の更新	松下 吉男	全員	事務員
・寄附講座	細谷 功	永峯 章	

2. 泉会賞



海への回帰とは

多くの人々は海を見て安心します。それは、人がお母さんのおなかの中をいよほど無事に出来ていたことが証明して上げられます。つまり、海で羊水を循環しているのです。

この感覚は、聖地巡礼への帰郷の感覚であるといえます。

そしてここでは人が海へ戻って再び海が活性化することを目的としていることから、「聖地巡礼」の同様に「海への回帰」としました。

人が海に回帰するための4つの方法

1. 現在の港のイメージを変える
 - 経済活動拠点
 - 近郊農村
 - 遊歩道
 - 遊歩道の拡張
 - 遊歩道の人の心象から空間を構成する
 - 遊歩道の拡張
2. ニーズに対応した港にする

数百年前では定期的イベントが行われており、イベントは海にニーズが生まれるチャンスであるため、イベントが育える広場やステージも設けました。

電車、バス、車の利用者のニーズを分析し、その利用動向をレジャー施設の種類として組み込んでいきます。

世代別	利用目的	利用場所
家族とバスの利用者	高齢者、買い物、古着	カフェ、レストラン、ショップ
学生	通学、遊び、買い物、デート	レジャー施設、ショップ、公園
自転車利用の	通勤、買い物	ショップ
大學生	通学、遊び、買い物、デート	レジャー施設、ショップ、公園
3. 安心できる港にする

通り抜けて心配されることは自然による不安です。私は港に到着するのではなく、いかにスムーズに到着できるかの懸念を置き計画しました。

道路構造と開通する前の港の構造を軸として敷設計画を行います。どこにいてもスムーズに到着できるようにしました。
4. 建築空間により人を誘引する
 - どこにもない空間があります
 - そこに小さな門を入ると、それを見てもいます
 - つまり利権の構造は、人を引き付ける力があると考えます

私はイベント会場としての機能を兼ね備えた、レジャー施設を計画します。

現在の日本の港は経済活動拠点としての色合いが濃くなり、人々が近寄りやすい空間になっています。そこで、私の地元である青森県八戸市の八戸港の臨海岸壁を舞台に、そこで行われるイベントを起爆剤とし、再び人で賑わうことを目的とした港の空間を創造します。

八戸港・海への回帰

勝瀬 義仁 研究室
出町 佳祐

「泉会」卒業論文賞

藤原涼平、松岡俊佑、工藤大樹

低・中周波数に有効な吸音体の研究 多層構造による吸音率の変化

「川越キャンパス連合育成会」優秀卒業研究賞

和地大伍、来栖智宏

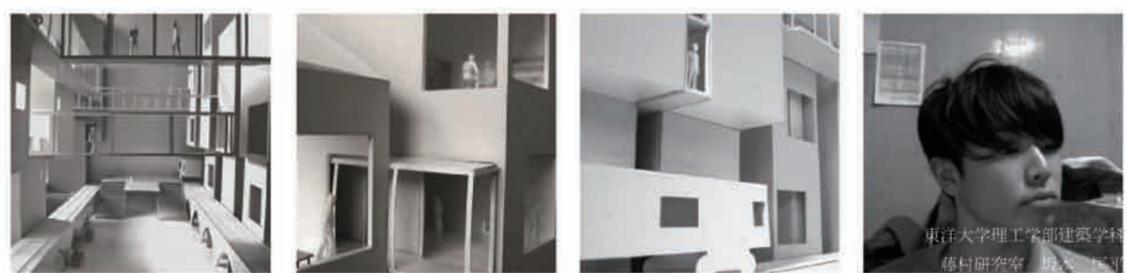
耐震改修における目荒らし工法の力学的性能に関する研究

3. 学科賞




駅上の蔵街 - 駅に都市を埋蔵する -

90年代以降日本はロードサイド型ショッピングモールや郊外型の大型ショッピングモールが目立ってきたが、近年では再びステーションシティなどの駅開発が再び注目されている。現在のステーションシティはコンテンツ重視による活性化の意図を感じるが、その土地固有の地域性を感じない。また近年川越では近年観光地客の誘致に成功したが、宿泊施設や飲食施設の不足によりポテンシャルを活かせていない。そこで本計画では川越駅上の空間を利用し、訪れた人々に川越の地域性を感じさせる商業的な仕掛けを持つ新たな駅開発のあり方を提案する。



東洋大学理工学部建築学科
藤村研究室 坂本 匡平

「建築学科」卒業設計各賞

金賞：坂本匡平「駅上の蔵街 - 駅に都市をを埋蔵する -」

銀賞：赤岩駿也「川口のローンチ - スケルトン化する経済的インフラストラクチャー -」

銅賞：大槻 茜「街へのレイヤー」

長谷川陵介「NEO PUBLIC OMIYA - 公と民が寄り添う時代に -」

「建築学科」設計製図賞

松岡佑樹

「建築学科」卒業論文賞

作本美鈴

人口減少下におけるインフラの維持・管理・整備の方策に関する研究

石川県白山市を事例に

「校友会」学生研究奨励賞

大友朝子

4. 建築パーティー（2012 KENTIKU PARTY）

建築パーティー代表 高橋拓海

早春の候、ますます御健勝のことと御慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。
今年度の建築パーティーの報告をさせていただきます。

記

春学期	秋学期
ゲスト 長谷川 豪 氏（長谷川豪建築設計事務所）	ゲスト 山下 保博 氏（アトリエ天工人）
日時 平成 24 年 7 月 13 日（金）	日時 平成 25 年 2 月 9 日（土）
会場 東洋大学川越キャンパス	会場 東洋大学川越キャンパス
講演：7号館3階 視聴覚講義室	講演：7号館3階 視聴覚講義室
懇親会：食堂棟1階 学生ホール	懇親会：2号館3階 中央アトリエ
講演 18：00～20：00	講演 18：00～20：30
懇親会 20：00～21：00	懇親会 20：30～21：30

まとめ

今回、福島英人、高橋拓海の二人が、それぞれ春と秋学期で建築パーティー実行委員代表を務めさせていただきました。学生主体で毎週火曜日5限終了後にミーティングを行い講演日時、ゲスト、広報等について会議を行いました。

春学期の建築パーティー当日には秋学期の建築パーティーを改善するために、来場者から・チケットの値段・ゲストの希望・講演以外の企画アイデアの募集についてのアンケートへ協力していただきました。

秋学期は講演以外の企画のリサーチが不十分でワークショップや即日設計などの企画案を実行に移すことができませんでした。

また、建築パーティーと別に行われている連続講演会の第三回目のゲストである、五十嵐 淳氏、秋学期の建築パーティーのゲスト、山下氏について全学年を対象にした勉強会を3回ずつ行い、講演での理解の向上を図りました。

至らない点も多くあったが、学校と先生方に支えて頂き、建築パーティーのプログラムは滞りなく、無事に成功することができました。また、建築パーティーの趣旨の一つである、「多学年との交流」も勉強会と懇親会を通して行えました。今回の反省点や、成功した点をもう一度実行委員で話し合い、後輩たちに引き継ぎをしたいとおもいます。

以上

大学生活を2年間終えてみると、建築パーティーをはじめ、学校生活の至るところで、先輩である泉会の方々からの支援に気づき、感謝の気持ちでいっぱいです。4年間の学部生生活も振り返り地点を迎えました。これからも向上心を持って充実した大学生活にしようと思う所存であります。これからも御指導、御鞭撻をお願いいたします。

5. 住宅課題賞

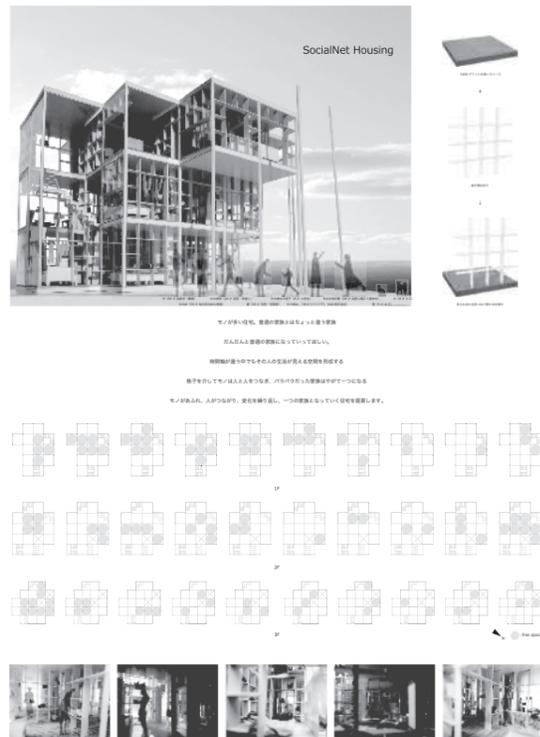


押山玲央

東京建築士会の主催する「住宅課題賞」は、首都圏の建築系大学より、設計授業の住宅課題の優秀作を募り展示し、さらにこの中から公開審査により特に優れた作品を「優秀賞」として選出し顕彰しているものです。本年は34大学44学科の参加・出展がなされました。

押山の作品は2年の設計製図(第三課題「家族をリスタートする住宅」から本学の代表作品として選出されたものです。以下、本人のコメントを記載します。

閉鎖的になり人との繋がりが失われつつある日本の住宅において、より繋がりを求めた住宅を目指した。物が他の国に比べて多い日本の生活において、それらが溢れ出し、溢れ出したものをかいて人と人とが繋がり、情報を発信していく。十年、二十年と変化していきより人と人が近くなる住宅を提案します。



6. 建築学科 2012 年度連続公開講演会

連続公開講演会は、昨年度に続き東洋大学理工学部建築学科主催によって開催された。建築に興味のある高校生、専門学校生、大学生、大学院生、社会人の方を対象に、今年度は伊東豊雄氏、佐々木睦朗氏、五十嵐淳氏の3名をゲストにお招きした。

「建築的思考」をテーマとし、建築には建築独特の考え方(=建築的思考)があり、それはどのように学ぶことができ、どのように社会に活かすことができるのかについて、講演会および討議が行われた。伊東豊雄氏は「みんなの森 ぎふメディアコスモス」と「ベネチアビエンナーレのみんなの家」の取り組みに、佐々木睦朗氏は学生時代から今日に至るまでのご自身と建築の関係に、五十嵐淳氏は地域特有の環境から導かれた建築形態に、それぞれ異なる建築的思考を講演頂いた。討議のあとの質疑応答の時間には多くの質問がよせられ、参加者に開かれた活発な議論が展開された。以上の内容は、年度末に『#TOYOSEIZU #2』として印刷物にまとめられる予定である。[畑克敏]

ゲスト：伊東豊雄、佐々木睦朗、五十嵐淳

モデレータ：藤村龍至 [東洋大学理工学部建築学科講師]

コメンテータ：工藤和美 [東洋大学理工学部建築学科教授]

日程：2012年6月30日[土]16:00-18:00 伊東豊雄

2012年7月28日[土]16:00-18:00 佐々木睦朗

2012年11月10日[土]16:00-18:00 五十嵐淳

ゲスト講師プロフィール



伊東豊雄／建築家

1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。1965年～69年菊竹清訓建築設計事務所勤務。1971年アーバンロボット設立。1979年伊東豊雄建築設計事務所に改称。



佐々木睦朗／構造家・法政大学教授

1946年生まれ。1968年名古屋大学工学部建築学科卒業。1970年名古屋大学大学院工学研究科修士課程修了。1970～79年木村俊彦構造設計事務所勤務。1980年佐々木睦朗構造計画研究所設立。1998年博士(工学)取得。1999～2004年名古屋大学大学院工学研究科建築学専攻教授。2004年～法政大学工学部建築学科教授。



五十嵐 淳／建築家

1970年北海道生まれ。1997年株式会社五十嵐淳建築設計事務所設立。現在、名古屋工業大学非常勤講師。

7. 第11回まちかど講評会のご報告

今年度で11回目を迎えるまちかど講評会が、3年生と大学院生を対象にした学外展示として、旧川越織物市場（後援：川越市）を会場に、7月15日、16日の2日間に渡って開催された。

3年生は、川越市内の伝建地区を敷地に、住環境と商業環境の新たな関係を創造する集合住宅（=まちなかりビング）の新築と改修の提案を展示した。既存建物の改修は川越の町で期待されているテーマの一つであり、旧山吉デパートを対象にした提案は、今年度の新たな試みであった。

大学院生は、旧川越織物市場を対象に、調査から利活用までをまとめた再生企画案を展示した。軒下空間を利用した3年生の展示、長屋どうしを繋いでいたかつての屋根を再現した天幕、広い中庭空間を利用した講評会（ゲスト：堀越英嗣氏）など、まちかど講評会というイベントそのものが実践的な利活用の提案となった。

2日間で延べ100名以上の来場があった。学生にとっては市民の声と向き合うよい機会になり、来場者にとっては新しい交流の場の発見になったのではないかと思う。本講評会は、毎年川越市内で場所を変えながら続けられており、次年度以降のさらなる発展が期待される。[畑克敏]



8. 第15回「泉会杯争奪研究室対抗ソフトボール大会報告」

今年度の研究室対抗ソフトボール大会が、11月12,13日で開催され、優勝：秋山研究室、準優勝：篠崎研究室、3位：藤村研究室となりました。賞状、トロフィーに加え、賞金（優勝：1万円、準優勝：5千円、3位：3千円）が授与されました。賞品、賞金は「泉会」の在学生支援費と「川越キャンパス連合育成会」からの学生生活活動支援費から賄われました。今年は大学院生からフットサルの提案がされましたが、検討の結果多くの学生が楽しみにして伝統あるソフトボール大会を継続することになりました。実行委員として5名の大学院生を早期に決めることになりました。



9. 平成24年度・東洋大学建築学科同窓会「泉会」総会

平成24年度・建築学科同窓会「泉会」の総会、支部交流会、懇親会が6月23日（土）川越キャンパスにおいて開催されました。

当日は会員39名の出席のもと、23年度決算報告、24年度予算案などについて審議されました。

会の終わりに、次回総会での出席率を上げることや、泉会の在学生への知名度を上げるためのイベント企画などについて、三役で検討することになりました。

また、卒業生である非常勤講師の泉会への参加意識を高めてもらうべきという意見がだされました。

支部交流会では、北海道、神奈川県、静岡県、徳島の各支部より出席をいただき、それぞれの支部活動の報告がされました。

15時からは、川越キャンパス連合育成会大会、そして16時からは連合育成会合同交流会と合同で学生食堂にて懇親会が開催され、会員相互の懇親を深めました。



10. 平成24年度 建築学科・「泉会」共催の就職セミナー

建築学科と「泉会」の共催による平成24年度・就職セミナーが12月22日（土）川越キャンパスにおいて下記のようなスケジュールで開催され、多くの3年生、大学院生が参加し、盛会のうちに終わることができました。

□パネルディスカッション

13:15～14:45（4号館421教室）

パネリスト：設計 湯本央樹（43期）、総合建設業 岸尚志（30期）、不動産 櫻井かおり（41期）、ビル管理・設備 大沢昌志（42期）、ハウスメーカー 伊藤健（38期）、司会 勝瀬義仁（建築学科教員、4期）

□会社説明会

15:00～16:45（4号館第1、第2、第3会議室
工技研セミナー室）

参加企業54社

□懇談会

17:00～18:30（学生食堂）

会社説明会終了後は、場所を学生食堂に移して懇談会が開催され、企業の方々と学生との懇親を深めることができました。

参加いただいた企業の方々、卒業生の方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。



11. 退任・新任教員紹介

退任のご挨拶

昭和42年9月に東洋大学工学部建築学科平山研究室の助手として採用され、以後川越キャンパスで40年以上に亘り多くの先生方、多くの卒論生のご支援、ご協力をいただき、教育・研究を無事終了するに至りました。

助手に採用された直後の日本建築学会競技設計「青年センター」では、卒論生の徹夜での模型協力もあって全国2等1席を受賞しました。以後環境系の教員としては異例ですが、川越キャンパスの体育館、講義棟、東洋大学付属図書館工学部分館と東洋大学付属図書館の設計に参加、その後、白山キャンパスの川越移転・川越キャンパス計画と朝霞キャンパス計画にも参加致しました。勿論、研究室の研究テーマである「室内の温熱環境に関する実験的研究」は行っておりました。

平山先生がご退職された後、講座長が安岡先生に変わられてからも室内温熱環境に関する研究を継続していましたが、その後、土屋先生に代わられてからは木造住宅の「住宅の断熱構造化に関する研究」を中心に、床下及びその近傍の結露性状について研究おこない、その結果は、住宅金融公庫の施工マニュアルの基礎資料として使用されています。環境設備系の教員として本格的な研究はこれが最初のスタートと考えられます。次に取り組んだ研究テーマは土屋先生と一緒に「木造住宅のバンプ化に関する研究」です。多くの住宅メーカーと共同研究をおこない、屋根集熱・壁蓄熱方式の開発に至りました。その後、バブル崩壊で建物もスクラップ&ビルドの時代からロングライフ化の時代へと変化する過程で、建築学科の不動産科学科への変容がいわれたこともありました。

平成元年から研究の方向を環境工学から建築設備・建物管理を主体とした「建物の維持管理に関する研究」と設備管理を主体とした「大学キャンパスの施設管理・維持管理に関する研究」に徐々に変え、AIJの「建築設備管理ガイドライン」のアカデミックスタンダード版を6年の歳月をかけて、建築学会設備管理指針検討委員会委員長としてまとめました。

また、同時期に川越キャンパス体育会ボディビル部部长として20年以上も学生の指導にあたり、全国6位入賞者を輩出するに至りました。

環境設備系の教員として教育や研究に40年以上も専念できたのは、建築学科教職員皆様のご支援や学生の協力があつたからこそであります。謝意を表します。

泉会会員の皆様にお伝えしたいことは、学生時代の勉強は、必ず役立つということです。積極的に「建築」に取り組んでください。

今後の泉会会員のご活躍を楽しみに、皆様の活動を心から応援しています。

准教授 永峯 章 (1期)



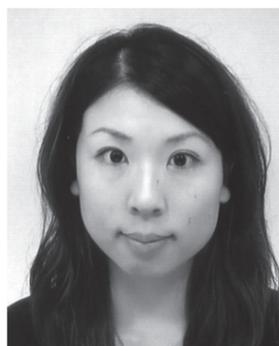
退任のご挨拶

この度、一年間務めてまいりました設計支援員の職務を終えることになりました。多くの方々のご支援によって非常に濃密な時間を過ごすことができましたと感じております。特に設計演習の授業の進め方や講評会の仕組みは、私自身がこれまで受けて来た建築教育とは異なる部分もあり、大変興味深く関わらせていただきました。また、建築に関わる様々な分野の実務者の方のお話を学生と一緒に聞いて伺う機会にも恵まれ、一年を通してたくさんの方々との出会えたことはとても刺激的でした。

こうした多くの場面の中で、私は設計支援員として学生たちが学ぶ空間を整えることは力を注いだ部分の1つです。普段使用する製図室の空間やその周囲にある空間、講評会の空間など、様々な状況において場を仕つらえることは、私にとって空間に関わる身近な実践の場と感じていたからだと思います。私が学生時代過ごした空間的な経験がそうであったように、学生の皆さんにとって東洋大学建築学科での経験が学外へ出たときのひとつの軸になると感じ、身の回りの全てのことが建築に取組むことと繋がるといったことが少しでも伝わっていればと思います。

今後は、研究活動に一旦専念しつつも、いずれは設計や教育の場にも携わっていきたくて考えておりますので、東洋大学での経験が今後につながるよう日々精進していきます。短い間でしたが本当にありがとうございました。

設計技術支援員 牧 奈歩



新任のご挨拶

名古屋の愛知淑徳大学から赴任してきました。計画デザイン系を担当します。出身大学は東大で、学部は横文彦先生、院は原広司先生に指導を受けた幸運な世代です。大学院時代に世の中はバブルになり、六本木の国立新美術館の場所にあった生産技術研究所(旧歩兵第三連隊兵舎、二・二六事件の兵士たちがいた建物)で過ごしました。そのころ、工藤和美(現東洋大)、堀場弘(東京都市大)、小嶋一浩(横浜国大)、伊藤恭行(名古屋大)、小泉雅生(首都大)といった友人たちと設計組織のシーラカンスをつくりました。

バブル崩壊のころ神戸芸術工科大学の助手になり4年を過ごし、阪神大震災の1995年に神戸から名古屋に移り18年間を送りました。女子大から共学になった愛知淑徳大学で、文系の中で建築が学べるコースをつくり運営してきました。いつも女子学生の方が多く、同じ学部には経済学、社会学、作家、歌人、まんが家など、多彩な先生方がいる環境でした。

研究は、建築や都市での人の迷い(wayfinding)、立体的で複雑な都市空間、スペースブロックという表記法・設計手法、建築の設計方法、関東大震災の復興小学校、近代建築の保存再生などです。

設計実務としては、98年から妻の多羅尾直子と東京でタラオ・ヒロ・アーキテクトを開設しています。住宅設計が多いですがコンペにも挑戦しています(連戦連敗ですが)。名古屋では歴史の長い女子校である愛知淑徳中学高校の設計をしました。卒業生の家の設計をしたことも楽しい経験でした。

私は千葉の小都市で生まれ二十代まで関東で育ちました。ですから、「こもれびの道」を歩いたときに、関東ロームの土の臭いと黒い色で、帰ってきたという感を強くしました。長いアウェイからホームに戻ったつもりです。どうぞよろしく願いいたします。

教授 日色真帆



新任のご挨拶

設計技術支援員 木元 洋佑 (42期)

この度ご縁があり、設計技術支援員を務めさせて頂く事になりました木元洋佑と申します。

私は2006年度本大学建築学科の卒業生で、卒業後は設計事務所に4年半、ゼネコン設計部に1年半勤務し、個人住宅、学校、オフィスの設計に従事しました。今回、6年ぶりに設計技術支援員として、母校の教育のお手伝いができる事大変うれしく思っております。

出身は、本大学のある川越市に隣接する埼玉県坂戸市で、大学卒業までの22年間をこの地で過ごしました。大学時代は工藤研究室に所属し、明確な答えのない建築設計の魅力にのめり込みました。また、東洋大学での学外活動を通して、川越という特徴ある地域中でのものづくりをしていく環境と、一方で多くの価値観が取巻く都心でのものづくりを学べた事は、その後の設計活動を行っていく上でよい経験になりました。

大学終了後の設計の仕事では実際に建物を造っていく上で、場や状況、環境や人、その他多くの目に見えない外的圧力を総合的に組み立て、多くの選択の中から最善の形を見いだしていく物づくりのやり方に魅了されました。

これらを経て、現在もさらに建築学にのめり込んでいます。

今回、設計支援技術員の仕事を通し、少しでも学生にも建築の面白さを伝えられたらと考えています。またOBとして、私の大学卒業後の経験とそこで感じた事を、学生に伝えられたらと思っております。至らない部分も多々あるかと思いますがどうぞよろしく願いいたします。

私は千葉の小都市で生まれ二十代まで関東で育ちました。ですから、「こもれびの道」を歩いたときに、関東ロームの土の臭いと黒い色で、帰ってきたという感を強くしました。長いアウェイからホームに戻ったつもりです。どうぞよろしく願いいたします。



12. 平成 25 年度年間活動計画（案）

月	理工学部(建築学科)「泉会」関連行事	泉会行事、会場、業務活動等
4	新入生オリエンテーション 4/1～5、 入学式：4/6 授業開始：4/8 「泉会」寄附講座開始：水曜日 15 回 (4月～7月)	・新入生オリエンテーション会長祝辞(4/2) ◇拡大三役会 4/2 (火) 於：川越校舎 (スケジュール・会報関係) 準会員費集金及び記念品 (三角スカーフ) 贈呈 (役員・学内幹事) 3,4年進級ガイダンスにて2級建築士模擬試験実施 ●「泉会」寄附講座開始 ・会報編集委員会 未定 ・平成24年度活動計画 他 ・連合育成会役員選出 (代議員5名、各種常任委員5名、選管委員1名)
5		*4年生終身会費納入のお願い (各研究室、ゼミ長会議等) ・幹事会案内状メールでの発信 ○幹事会 5/25 (土) PM3:00～ 場所未定
6	学祖祭 6/6	・川越キャンパス連合育成会代議員会：6月8日 (土) ○「泉会」総会・支部交流会 6/22 (土) 13:00～ 川越キャンパス 連合育成会大会、イベント (内容は未定) 幹事同期会8,18,28,38期、連合育成会合同交流会 ・神奈川支部総会→未定
7	第1回新入生歓迎建築パーティー	・建築学科まちかど講習会：7/ ・新入生歓迎第1回建築パーティー (準会員支援)：7/
8	夏休み 8/12～9/19	・徳島支部総会
9	9月卒業式・学位記授与式：9/19 (木) 秋学期授業開始 9/22 (金)	*会報編集委員会発足 ◆「泉会」建築学科合同懇親会：未定
10	研究室対抗ソフトボール大会	・第16回「泉会杯」争奪研究室対抗ソフトボール大会 (準会員支援) ◇三役会：未定
11	こもれび祭 11/4～5	・連合育成会イベントへの参加
12	冬休み 12/24～1/4 第2回新入生歓迎建築パーティー	◇三役会：未定 建設業界説明会 (総合資格学院と連携) ・OBによる就職ガイダンス：12/21 ・第2回建築パーティー (準会員支援)：未定
1	授業再開 1/6	平成26年度寄附講座講師選考
2	春休み 2/7～3/31	◇三役会議：未定 ・卒計発表会・卒論発表会・泉会賞選考 (準会員支援) *会報編集会議：未定
3	卒業式・学位記授与式：3/23 (土)	*会報編集委員会：未定 ・3/23 卒業式にて会長祝辞、記念品贈呈、泉会賞授与 (準会員支援) 準会員終身会費集金作業

■主な事業活動項目と担当者

事業活動項目	担 当 者		
	担当三役員	学内幹事	連合育成会
・泉会賞選考・授与	中山 秀明	全員	
・新入生オリエンテーション	全員	全員	
・就職ガイダンス+懇親会	全員	全員	
・幹事会	全員	木元 洋佑	
・定期総会・支部交流・懇親会	斉藤 宏昭	勝瀬 義仁、奥津 孝雄	事務員
・広報・企画 (会報「泉会」等)	寺山 誠、伊藤 麻理	全員	
・財務	松下 吉男	木元 洋佑	事務員
・HP維持管理	長谷部 勉	松下 吉男	
・名簿の更新	寺山 誠	全員	事務員
・寄附講座	中山 秀明	藤井 弘義	

寄付講座

産学協同実習 I

水曜日 13:10 - 14:40

H25 年度 泉会寄付講座

2201番教室

	月 日	ジャンル	テーマ	概 要	担当者
1	4月10日	寄付講座 (泉会)	ガイダンス	産学協同実習 I、どんな講義「概要説明」	東洋大学教授 日色真帆
2	4月17日 1回	インテリア	商環境デザイン	都市環境を生成する「商環境デザイン」とは、 1.どのような領域から成り立っているのか。 2.どのようなアプローチでデザインを行うのか。 3.今後どのような役割を果たして行くのか。	ミズタニデザインスタジオ 水谷晶人(1990卒)
3	4月24日 2	音響計画	音を中心とした環境設計の可能性	住環境から地球環境まで音を要素技術とした環境設計、騒音制御の適用と空間演出、評価を実例を挙げながら説明し技術面、経済面、心理面においても若干言及する。	音響計画 安岡博人(1970卒)
4	5月8日 3	設計・計画	人と建築とまち	近代・現代[東欧「チェコ、オーストリア、ハンガリー、スロバキア、ポーランド」]から建築家なしの建築への小さな旅を皆さんと一緒にしてみたいと思っています	建築工房 葺 原 雅敏(1967卒)
5	5月15日 4	不動産	不動産とは	不動産とは 1.不動産に係るリスク 2.最近の不動産事情	三井物産R・M 深谷健二(2005卒)
6	5月22日 5	設備マネジメント	建築設備のワークフロー	計画一施工一竣工引渡し後まで、一つの建物が出来上がっていく様子と、その時々でどのようなことをするのかを、実体験を交えながらご紹介します。	三建設備工業(株) 後藤尚宏(1990卒)
7	5月29日 6	建築施工管理	都市型建築現場における現状と課題について	最近の建設現場の実情・課題を取り上げたいと思います。	大成建設(株) 永沼 功(1992卒)
8	6月5日 7	インテリアと意匠設計	インテリアと意匠設計	設計事務所で行っている建物の設計をベースに作品紹介と設計の進め方など。	(株)シグアーキデザイン 須貝重義(2005卒)
9	6月12日 8	住宅	住宅業界について	現在の住宅事情および住宅に関する仕事内容	近藤建設(株) 中村光宏(1996卒)
10	6月19日 9	内装インテリア	近代内外装の業界紹介	内外装業界としての施工内容紹介。	OKUJU(株) 石黒寅夫(1985卒)
11	6月26日 10	意匠設計	デザインすること。ということ。	予条件を満たすだけの作業ではなく、かみすぎて本質を失うものでもなく、自分なりに深く考えて答えを導き出すことがオリジナルデザインとなる。	中山秀明建築研究室 中山秀明(1977卒)
12	7月3日 11	建築行政	建築基準法と確認申請	建築基準法と確認検査の在り方をお話しします。	(財)さいたま住宅検査センター 斉藤 顕(1997卒)
13	7月10日 12	照明設計	建築と照明	建築における照明設計の役割	コイズミ(株) 富田健一郎(2005卒)
14	7月17日 13	渋谷再開発計画	渋谷再開発計画	都市再生と渋谷駅周辺の再開発の概要について	東急建設株式会社 清水昌博(1974卒)
15	7月24日 14	まちづくり政策	まちづくりと行政	まちづくりにおける都市計画行政とそのしくみについて	川越市議員 小野澤康弘(1992卒)

寄付講座講師の募集

建築学科では毎年、産学共同実習 I で 15 回の泉会寄付講座を行っています。また、川越キャンパス連合育成会では、実践職業論で寄付講座を行っています。卒業生の中で寄付講座を担当していただける方は以下の方法又は育成会事務局までご連絡ください。川越キャンパス連合育成会の返信用資料の中に、◇「アンケート調査について」の欄があります。その中の B に、在学生に講義をしていただける場合、その内容を記入する箇所があります。こちらに講義内容をご記入いただき返信してください。講義をお願いする場合、三役から連絡させていただきます。よろしく申し上げます。

【育成会事務局】049-239-1679

支部だより

北海道支部

5期 高橋 功

この支部だよりを書いている2月の末頃は、雪まつりも終わり、日一日と春に近づく時節ではありますが、この冬の北海道はひと際寒く、雪も多い年であります。私の生活の場、札幌も正月を明けてから益々の雪が降り続き、殆ど毎日のように、除雪をしなければなりません。今日も運動と思い、楽しみながら頑張っております。

雪国（北国）で建物を建てる際に注意をしなければならないことがあります。ひとつの例として屋根に雪が積もり、風により雪庇ができます。この雪庇とは積雪により屋根の風下に帽子のつばのように、雪がせり出したり、垂れ下がった状態をいい、自重や暖気によって落下し、事故に繋がる大変危険な現象で防止対策が必要になります。その他、外壁の突出部からの落雪・落水等があり、自然に立ち向かう建物を作るには、自然環境が異なる各地域ごとに配慮しなければならないことが多々あります。

3月に完成をみるパースの建物である、札幌市北九条小学校は開校110周年を迎え、老朽化に伴い、体育館だけを残す、学校施設の建替工事で弊社は設計・監理を担当し、施工業者さんには冬の寒さと雪対策など大変な思いで工事を進めて貰っています。特色としては、外気の影響を受けにくい外断熱工法や、自然エネルギーとして一部壁取付型の太陽光パネルの設置、また敷地利用の効率性を考え、プールを同一棟とし、5階建ての5階部分に屋内プールを設置するなどした施設づくりとなっております。



北九条小学校 完成透視図

徳島支部

19期 板原 智

徳島支部は毎年「阿波踊り東洋大学連」を開催しています。阿波踊りは、徳島市の中心街において毎年8月12～15日の4日間開催されており、徳島県人にとっては、一大イベントになっています。

今年も「阿波踊り東洋大学連」は、2日間盛夏の徳島の街に繰り出しました。今回から長年の活動が認められ、県外の大学連として初めて優先連となり、有料演舞場（有料なので、選りすぐられた連しか入ることができない）にて優先的に踊ることができるようになりました。

このように徳島支部では泉会のメンバーが中心となり、阿波踊り後援会・大学内サークル「阿波踊り愛好会」・校友会・甫水会と共に活動しています。

「阿波踊り東洋大学連」は、次回（H25年度）で結成25周年を向えることもあって、例年以上に盛り上がることは間違いなしです。

各支部の方々も是非一度阿波踊りにご参加下さい。徳島支部一同お待ちしております。
“何時来る？来るなら今でしょう！”



支部だより

タウンウォッチング、神泉会の活動

10期 原崎 久人

神泉会（泉会神奈川支部）はここ数年、「横浜タウンウォッチング」を年間活動の柱として活動しています。毎年10月に建築を軸にして、横浜市内で面白そうなところ、会員の関係するところ等を選定し秋の一日を楽しんでいます。

昨年は、第6回目となり市内の観光名所でもある「三溪園」に集まり園内の名建築を見て回りました。最近の神泉会の活動は校友会との連携も増え今回も全体で20人ほどの参加者のうち半数以上は校友会からの参加者でした。参加者の大部分は、一度は来場したことのある方が多かったのですが、7期高橋さんの働きかけでボランティアのガイドさんに2グループに分かれて案内してもらい、いつもは通り過ぎていたようなところも、その由来等の説明を受け納得の連続でした。その後は、約束の懇親会で盛り上がり交流を深めました。

今後も、この「タウンウォッチング」が年間活動の主軸としていくことになると思いますが、昨年より新会長に就任されました3期河野会長により今後数年の見学先が提案されこれをもとに毎年具体的に行き先、行程等を検討していくことになると思います。

昨年は、川越からの参加者は残念ながらありませんでしたが、毎年早めに予定を決めて、学部の掲示板で紹介できるように出来ればと思っておりますが紹介がいつもぎりぎりになってしまいます。この時期は夏休みほかいろいろな行事でなかなか大変だとは思いますが、たまには横浜まで足をのばしませんか。この三月より、横浜と川越が直通電車で結ばれます。川越から横浜中華街まで約80数分で到着すること、本当に近くなりましたので、中華街でランチをした後、横浜の街を一緒に歩きましょう。

「タウンウォッチング」の後は、年が明けて1月3日の「箱根駅伝応援新年会」です。最近の東洋大学の活躍により大変盛り上がっています。横浜駅東口「崎陽軒本店」の宴会場でお待ちしています。1月3日12時頃に横浜駅を通過する9区の選手を応援した後、会場で大手町のゴールまで一緒にモニター画面を見ての応援はどうですか。



支部報コメント

泉会では各地域の支部会を支援しております。新たに支部を立ち上げる場合、本部に連絡いただき、本部役員の下発足をやる必要があります。また、以下の項目についてお知らせ下さい。支部立ち上げが承認されれば、泉会総会への交通費（1名分）、活動費については年間5万円を上限として支援いたします。

情報交換、勉強会といった活動を通じ、会員相互の親睦・発展に貢献いただければ幸いです。

- ・申請項目：活動計画、メンバーリスト、規約、会計報告

トピックス

七建会卒業40周年記念の集い

7期 土肥 義則

私ども七期は、七建会という名称を故若林先生よりいただき、卒業以来5年ごとに欠かさず同期会を開催しております。そして昨年40周年を迎え、10月27日にホテル東京ガーデンパレスにて「七建会卒業40周年記念の集い」を開催いたしました。

当日、北は北海道、南は九州を始め遠路はるばる各地より大勢の同期が集まりました。そしてゲストとして、お世話になった先生々と歴代の泉会会長にも御出席いただき大変盛大な集いとなりました。初めにダンディな安岡先生よりご祝辞をいただき、次に別な会を抜け出て来たお酒の入った太田先生のご祝辞を受け、乾杯のご発声を現泉会会長の細谷様に音頭をとっていただきました。その後懇談となり卒業以来初参加の同期も居て、お互いに老けたなーと言いながら懐かしい青春時代の話に大いに盛り上がり、あちらこちらで話の花が咲き乱れておりました。

懇談タイムの中で更にゲストの方々からご祝辞をいただきました。全部の方を書けず申し訳ないですが、相変わらずお元気な目良先生、そして北海道からお越しいただいた一期生の武部様、同じく一期の飯吉様、桑野様と多くの方々から七期にご祝辞をいただき、先生方と先輩の方々に今も見守られていることが良くわかりました、有難うございます。

宴たけなわになったところで、会場を変え2次会となりましたが、ここでは遠くから来たメンバーのスピーチが次から次へと続き、更に盛り上がり実りある40周年記念の集いとなりました。お疲れ様でした、皆さんお元気でまたお会いしましょう。



第1回 環境設備分科会・懇親会

40期 福田 英司

第1回環境設備分科会が、昨年12月1日（土曜）東洋大学白山キャンパスにて行われ、会場には土屋研究室、高草木研究室の卒業生を中心に15人程度が集まりました。

まず、足利工業大学工学部准教授の齋藤宏昭氏（本学27期生）に、卒業から大学のポストを得るまでの取り組みに関して、パネルディスカッションを行いました。司会進行は、町田誠氏（本学32期生）が担当し、卒業研究に没頭された学生生活からはじまり、建築学会の修士論文賞、奨励賞の受賞、海外赴任、転職に至る経緯や取り組みなどを話し、参加者からの質疑討論も行いました。また、自分が良いと思って自主的に始めたテーマは結果として成功し、対外的な評価を得ているということや、就職後数年間は与えられたことを遮二無二に取り組むことが大切だという話をされました。また建材試験センターへ在籍されていた頃、休日家にこもって壁内結露のシミュレーションに明け暮れていたことを暗闇の時代と例えられ、会場から笑いが出る場面もありました。

最後に本分科会の発起人でもある高草木先生から、この会の主旨として「環境設備系の分野で働く卒業生に、本分科会を通じて社外のネットワークを作り、お互いの仕事や自身の能力向上に役立てていただきたい。早稲田等の名門大学のこのような会も、少人数から始まり、回を重ねることによって有益な会合になったので、本会も徐々に大きくしていきたい。」とお話を頂きました。会合の後は懇親会を行い、各々情報交換を行いました。今後は更に人を集め、環境設備系の卒業生にとってより良い会になるようにしていきたいと思っております。

トピックス

SD Review 2012 入選

第31回建築・インテリアのドローイングと模型の入選展

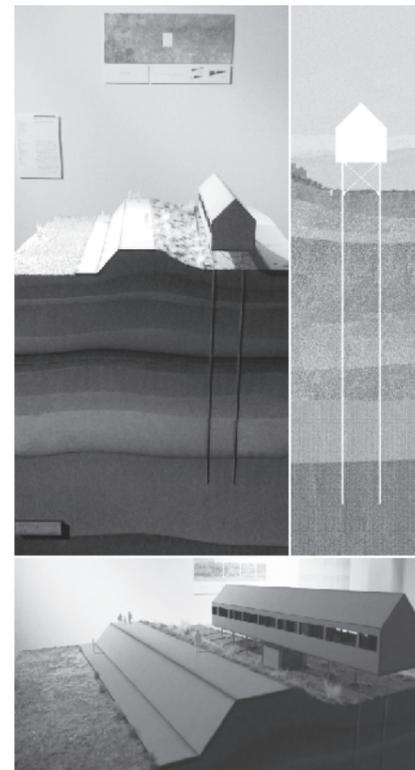
私どもが設計した住宅が、昨年9月に若手建築家の登竜門と位置付けされているSDレビューに入選しました。2013年夏竣工に向け現在の住宅の建設工事を進めています。

敷地は長野県の諏訪湖湖畔に近い川際に位置し、自然豊かな環境でしたが、河川の氾濫を制御する土手が西側にある軟弱地盤かつ多湿という場所でした。我々はこの敷地条件の中に「寒冷地において暖かく、家族5人が住める小さな家」というシンプルな施主の要望を踏まえ、敷地に対し建物の接続部分を階段室と鋼管杭だけにし、2階レベルまで家を持ち上げるという簡単な操作で以下の3点を獲得しています。

- ・既存地盤面の豊かな環境を極力保存する。
- ・西側の土手に遮られることなく、湖、川、山、空、等の現存する多くの自然環境を内包した住居域を獲得する。
- ・風や視界が通り抜ける大きな軒下空間を創出する。

また軟弱地盤の対策として、使用する鋼管杭をそのまま支持層まで伸ばすことで資材の合理化を図り建設コストを制御した構造計画としています。

鋼管杭によって持ち上げられた家型の内と外で、周辺に広がる気配を感じながら生活することが、住まいの豊かさに繋がることを期待しています。



26期 長谷部 勉
42期 野尻 征宏
45期 塩 大地

2011年度 小江戸川越三建築再生提案展（旧鶴川座部門）最優秀賞受賞

38期 中村 友子

38期中村です。平成18年度から2年間、建築学科助手を務めた後、現在は川越教学課に勤めております。

この度、私は川越市で行われました小江戸川越三建築再生提案展の旧鶴川座の部において、最優秀賞を受賞いたしました。提案展の概要は、川越に点在する「旧川越織物市場」「旧山崎家別邸」「旧鶴川座」の3つの歴史的建造物に焦点をあて、それぞれの再生・活用に関わる提案をするものです。

私の提案は、まちにあふれている劇団やサークル等の個性を発見し、それぞれがもっている能力を活かしあい、多くの人が気軽に劇場を使ってもらえるような、地域に愛され続ける劇場を計画しました。

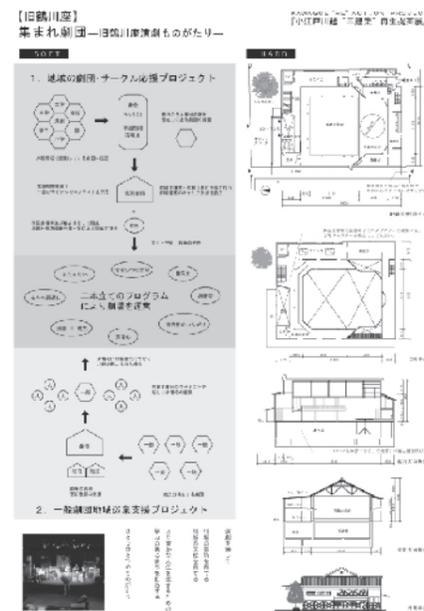
思えば、劇場に興味を持ち、建築士を目指したのは高校生の時に建築家の香山壽夫先生が設計された彩の国さいたま芸術劇場を見て感動したことがきっかけでした。

学生時代は恩師の藤井弘義先生と出会い「使いやすい劇場や理想の劇場はどのような空間なのか」という視点から「舞台側から見た室内音環境に関する研究」をテーマに音環境のご指導をいただき、研究室の先輩方、後輩陣、多くの方々の楽しい出会いがあり、この賞の受賞に繋がっています。

今後も多くの縁を大切に、旧鶴川座の復興・再建・まちづくり等に微力ではありますが、お役に立てるよう精進して参りたいと思っております。

提案作品：集まれ劇団-旧鶴川座演劇ものがたり-

授賞理由：演劇の拠点埼玉県、さらに全国の拠点にしようというオリジナリティのある素晴らしい提案である。



同窓生だより

建築構造と共に(素木三郎先生の研究と設計の足跡)の発刊に向けて

2期 田畑 貞和

恩師素木先生が亡くなられて早、5年が経とうとしています。

素木先生が亡くなられた後、研究室のOB有志が先生の書斎の整理に馳せ参じ作業をしまりました。何か共通の思い出として残しておきたいとの話に全員賛同し現在表記の本の発刊に向けて作業中であります。(この記事が同窓会誌‘泉会’に掲載されるときには完成されていることでしょう。)

本は、

I 先生との思い出

卒業生時代、卒業後の研究生時代、社会人となり実務で困った時先生に助けて頂いた様子など紹介されていますが、共通して言えることは、地方出身者にとって先生の奥様は東京のお母さんの様な存在でありました。

II 主な研究業績

1. 大学関連業績

素木研究室について1期生から素木先生が退官される26期生間の卒業論文一覧、素木教授の大学での教育と研究の紹介。

2. 実務関連業績

東洋大学工学部建築学科に赴任される前の建設省の営繕部に勤務されていた時代の設計に係わる研究、建築学会の諸基準の改定作業、特に国立国会図書館の建設に係わる研究資料が多く残されておりました。

III 主な設計業績

1. 大学関連施設

東洋大学のキャンパスにおいて素木研究室が関わった施設の紹介。

2. 宗教施設-崇教真光関連施設

飛騨高山市に建設された宗教施設について素木先生の指導のもとに関係者全員が同じ目標に向かって施工していた状況を多くの写真を使っての紹介。

の構成です。

同窓会誌‘泉会’にて紹介させていただき感謝申し上げます。

空はなぜ青く見える

16期 奥貫 悟

空はなぜ青く見えるの、疑問に思い調べてみると、太陽からの光が地球に届いたとき、光の中で、青色がもっとも空気中の微粒子に当たって散乱しやすいため、空に青色が残る青く見えるそうです。遅くなりましたが、僕は16期卒業の奥貫です。埼玉県の上野原工業で設計の仕事をしています。

この仕事していると、2年前の大震災と原発事故のことをどうしても思いだしてしまいます。青空をつくる光も放射線も広義の中では電磁波で、波長の違いだけで同じ仲間になるそうです。美しい青空も恐ろしい放射線も同じ仲間なんて、なんとも複雑な思いがします。一日も早く東北の復興が進むことを願います。

建設業界を取り巻く環境は依然厳しく、優勝劣敗の状況が続くと思いますが、自分でできることを一つ一つ実行して、こつこつ仕事をして行こうと思っています。いつも仕事をするとき大切にしている言葉があります。不易流行(ふえきりゅうこう) 松尾芭蕉が提唱した、俳諧理念の一つですが、いつまでも変化しない本質的なものを忘れないで、新しく変化を重ねているものを取り入れていくといった考え方です。なかなか難しいですが、この言葉を大切に仕事をしています。

最後に箱根駅伝のぶっちぎりのゴールをもう一度見たいと思っています。がんばれ東洋大学。



同窓生だより

地域に根ざして…

30期 田中 伸明

東洋大学卒業後、故郷・群馬県中之条町に戻り、平成10年にATELIER Nという設計事務所をはじめ、15年が経とうとしております。事務所開設当時は、結婚していたこともあり、いろいろなアルバイトをしながらの設計活動でしたが、ようやく本業の建築設計だけで細々ではありますが、暮らしていけるようになりました。地域に根ざした建築家として住宅中心に設計活動を行っています。平成25年度は地元小学校のPTA会長や消防団の部長をする事になり、これも生まれ育った町への恩返しと思ひ、地元の仲間と共にがんばっていきたく思います。

ここで、地元中之条町小学校PTAの活動を通じた大震災で被災された小学校との交流などを書かせていただきたいと思ひます。大震災発生時のPTA本部役員さんたちが、被災地に向けて何かできることは無いかを検討し、日本赤十字社等に送る募金でなく、被災された子供たちが実際に学校生活に必要としているものを送ろうと、ポイントをしぼり、宮城県山元町の山下小学校への支援をはじめました。こちらからの支援という形から始まった交流でしたが、お互いの小学校のPTAとの交流や子供たち同士の交流の姿も見え始め、例え細くてもこれからも長くつながっていければと願っています。今年3月にも本校PTAの支援活動で集めた義援金を山下小学校に届けに行った際、2年たった今でも線路の復旧もまだかなわず、未だに何もない平地にがれきの山がそびえ立つ風景を見て、復興という言葉からは、まだまだ遠い現状を目の当たりにしてきました。今後も継続して東北の復興に何らかのお手伝いができればと思ひています。

最後になりましたが、今年度より東洋大学建築学科で2年生前期の建築設計製図の非常勤講師を務めさせていただくことになりました。皆様、よろしくお願ひ致します。



「生き物の設計」

44期 佐伯 周一

はじめましての皆様。はじめまして。お会いしたことのある皆様、こんにちは。株式会社 ludogram 代表の佐伯周一と申します。学部卒業後4年が経ち、独立してから2年という月日がアッという間に過ぎていきます。便りということもあり、近況報告をさせていただきます。

最近住宅や工場の設計の他に、様々な伝統工芸の作家さんの展示会場の設計をしています。その中のひとつの作品を介して「生き物の設計」というコトバが自分の中でお気に入りです。テグス550m、かしめ500個、ダブルクリップ770個、天井フック500個、マル秘の布200m。僕の設計した空間に使用した建築材料の数量です。250㎡の空間を幾重にも重なる布でデザインしました。坪1250円の企画展展示空間の設計です。

とかく建築というものは、その空間に訪れた方に感動を与えられるものだと思います。そこには静的な美しさ、動的な美しさがあるのではないかと。今回のプロジェクトでは、訪れた方々が風を運び、布が揺らぎ、光が柔らかく空間の表情を変える、そんな動的な美しさ求め設計を試みました。建築を無機質な材料の塊として考えてしまうと質やコストが露呈してきます。しかし生き物として考えると、そこにはお互いに呼応する対話が生まれ、はじめて建築や空間とのコミュニケーションが図られると感じています。より生き物に近い、せめて鼓動くらいはある空間をうみ続けたいな、と。



同窓生だより

大学院 工学研究科 工藤研究室 友國 樹伸

東洋大学建築学科 4 年の友國と申します。学部での生活は設計課題に夢中になり非常勤の先生方や常勤の先生方に指導を仰ぎに出向いたのも今思えば、生徒と教師陣の距離感の近さがあっての事だったと記憶しています。そのような環境を先生方や助手の皆さんがつくってくださったからこそ、自分を含め私たちは建築に夢中になれている、そう実感しております。二年生の住宅課題などの設計課題で非常勤や常勤の先生方が学生作品に対して議論を展開し、時には学生をおいてけぼりにするほどの熱い姿勢というのは当時の私たちにとって、とても印象的であり頼りがいがありました。そんな自分たちも、4 年間で学んできた事を卒業設計でぶつけていき、たくさんの葛藤を乗り越えての提案となっています。今年の卒業設計は例年に比べて全体的に完成度が低いとの評価を頂きましたが、それぞれのテーマ設定や提案内容にはまだまだ未熟な部分というのは確かに自分としても実感する部分はありましたが、私達の卒業設計は4 年間の集大成であり熱い想いというのも含められていたと考えています。そういった意味ではとても熱意を持って望む事のできた卒業設計であったと実感すると共に恥じる事のない卒業設計であったと思います。そんな卒業設計を終え、4 年生になりそれぞれの目標に向かって私たちは歩き出そうとしています。この大学 4 年の間で学んだ事はきっとそれぞれの次に立つ舞台で活かされ、これからの活動の糧になると思います。これからも多くの壁にぶつかり葛藤を経験していくと思いますが、皆で乗り越えた卒業設計を思い出して私も東洋大大学院という次のステージで多くを学べたらと思います。



建築学科 4 年 真藤 太征

大学に入学してから早くも3 年が経過し、学生生活最後の1 年を迎えることになりました。これまでの事を振り返ると、学業を始めとする様々な出来事を経験し、多くの事を学ぶことができたと思います。

職人である祖父の姿に憧れて建築という分野に興味を抱き、一から学んでみたいと思ったので、この学科を選択しました。大学から建築を学び始めたため、専門的な知識が多い講義は、内容が難しく理解するのに苦労しましたが、初めて知るという新鮮さに心を躍らせ、充実した毎日を過ごしていたのを覚えています。中でも、「構造設計演習」の講義では、建物の荷重を計算し、柱、梁、スラブ、基礎を設計して構造図を完成させました。自分の設計した建物を実現させるような体験がとても印象に残っています。

現在は、3 年の秋から所属している松下研究室で構造について学んでいます。建築物を構成する重要な役割について深く追及したいと思い、この研究室を選びました。試験体をセットして、大型実験装置を操作し、実験結果を考察しながら建築を考える。講義だけでは学ぶことのできない貴重な経験をさせてもらっています。

これから4 年生になり、ゼミでの本格的な研究、就職活動などで忙しくなってくる中、構造の知識を深めていき、今後役に立てていけるように頑張りたいと思います。



同窓生だより

建築学科 3 年 安田 陽

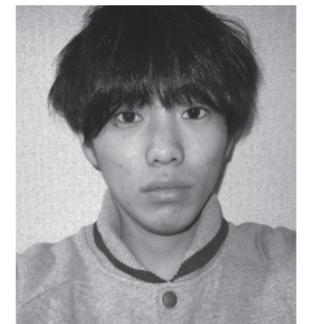
中学の頃から住む人によって違う住宅の空間に興味を持ち始め、建築に興味を持ち始めました。当初は全くの無知で、ただ何となく興味が湧いた程度でしたが、建築家の住宅作品を雑誌などで見ているうちにその興味は私にとって大きなものになっていきました。高校は県立の普通科で、野球部であったためほとんどの高校生活は部活動に捧げていました。そのため建築については触れる時間も少なく、本格的に勉強し始めたのは大学に入ってからでした。東洋大学に入学したとき不安はなく、建築を学ぶことに対する嬉しさに溢れていました。しかし、あっという間に2 年が経った今でも私が学んだのは建築のごく一部に過ぎません。建築はそれまでの歴史、様式、構造、国や地域による差異、社会性など、幅広く深いものです。学ぶためには広い視野が必要です。そう思い昨年夏にオープンデスクに行き模型を手伝わせていただいた住宅が竣工間際ということで、先日現場にお招きいただきました。自分が関わった建築が実際に建ち、その中に身を置くという貴重な経験ができて非常に感動しました。また、そのとき現場で作業する方々やお施主さんの姿を見て「人がいなければ建築は存在できない。同時に建築がなければ人は生きていけない。」ということを感じました。当たり前のことだと思っていたのですが、これは当たり前にはいけないと思います。それほど建築は人々にとって大切なものです。私はそんな建築を学ぶ今の道を選んだことを心から幸せに思っています。将来は、独立して設計事務所を設立したいと考えています。そのためにこれからも経験を積み重ねていきたいと考えています。

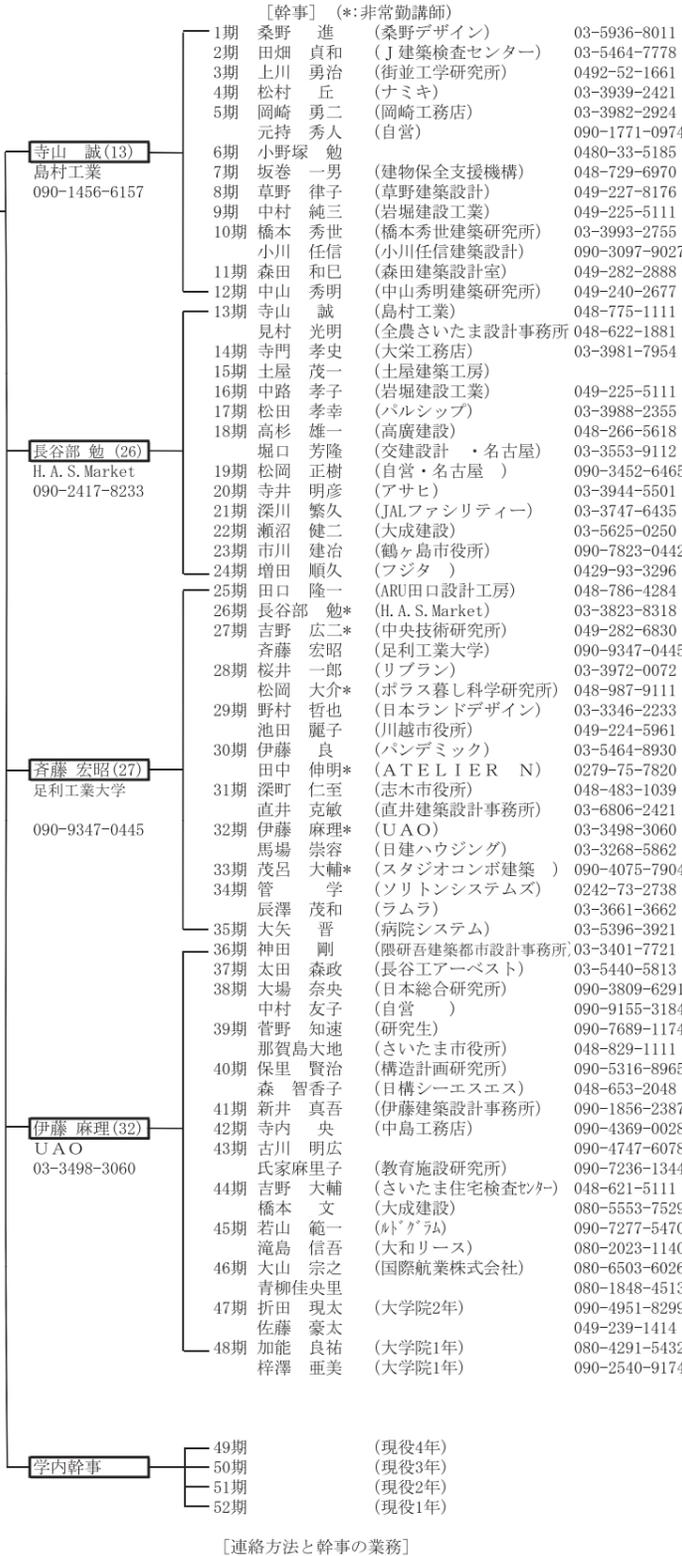
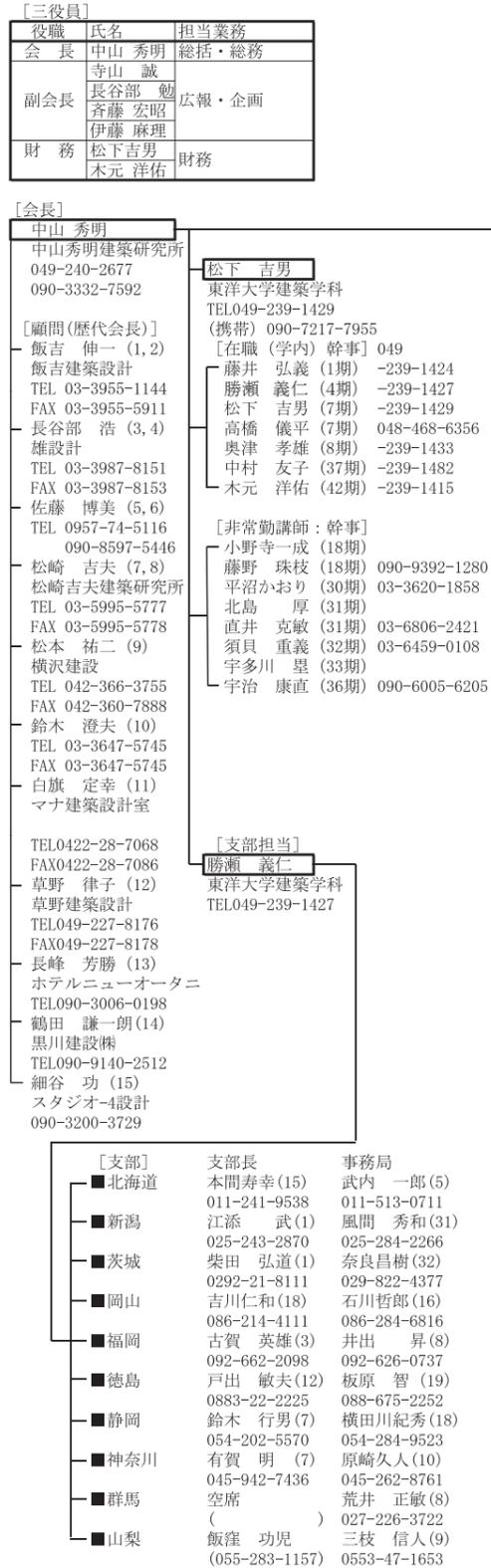


建築学科 2 年 内海 友博

単位が取得できていることを確認し、1 年間自分が大学に通ったことを改めて実感しているところです。思えば1 年前さまざまな不安を抱え大学に入学してきました。友人関係、一人暮らし、そして何より建築を学んでいく不安です、自分が通っていた高校は普通科だったので建築の知識などまるでありませんでした、それに加え建築学科に入る理由もこれといってあったわけでもなく漠然と選んだのを覚えています。そんな自分がこれからやっつけられるのか、そんなことばかり考えていました。しかし実際に授業が始まり、建築というものに触れれば触れていくほど興味がわいてきて、いつの間にか不安などなくなり純粋に建築というものに魅かれていきました。

自分がこの1 年で大切にしてきたことは「自発性」です。東洋大学で行われている連続講演会や建築パーティーなどには積極的に参加するようにしました、また時には学校外での講演会にも足を運び、自らそのような環境に身を置くことで建築に対する意欲、興味の向上を図るとともに、先輩との交流の機会を増やし多くのことを吸収することができました。授業では気になった点をノートにメモし、図書館などで調べることができる限り理解を深めることに努めました。他者から何か言われて行動するのではなく、自ら何をすべきか考え行動することが、大学で何かを学ぶ意味だという姿勢で1 年間過ごしてきました。しかしやりきれなかったことももちろんあります、そこで、ではなぜやりきれなかったのか、次はどうしたらいいのか、などといった問いを自発的に投げかけることが重要だと思っています、そしてそうすることがこれからの大学生活をより有意義なものにしてくれるのではないかと考えています。





**協力
スタッフ
募集**

建築CADオペレーター

★ JW CAD、アーキトレンド出来る方求む!!
★ 建築士免許あれば、なお可

ブランク復帰
の方なども
大歓迎です

正社員 月給23万~30万円 アルバイト パート 時給800円~1300円

勤務時間 / 9:00~18:00 (応相談)

休日 / 土曜、日曜、夏季・冬季休暇、有給休暇
資格 / JWまたはアーキトレンドで図面作成ができる方
待遇 / 社会保険完備、車・バイク通勤可、試用期間有
職種 / 建築図面作成、構造計算などの設計業務
交通 / 西武新宿線「狭山市」駅よりバス15分
狭山台団地徒歩1分

○お電話の上、履歴書持参下さい。

株式会社SPアーキテクト ☎ 04-2959-7155 採用係



設計申請おまかせください!

CADエキスパートが申請業務を丸ごと代行!

性能表示や構造計算など数多くの実績を持つ一級、二級建築士が、必要な図書作成や計算業務を丸ごと代行! 面倒な各種申請業務をご支援します。

的確!スピーディ!な支援サービスをご提供!

数多くの申請実績を持つ弊社専任スタッフがお客様に代わって評価機関に申請。品質のバラツキなく、面倒な審査機関の質疑にも全て対応し、確実な業務遂行をお約束します。



設計申請業務サポート内容

- 長期優良住宅をはじめとする各種申請図書の作成代行・取りまとめ
 - 第三者評価機関、長期優良住宅技術審査機関への申請代行及び質疑応答
- ※業務範囲については別途打ち合わせの上決定いたします。

長期優良住宅申請
住宅設計性能評価申請
建築確認申請(エリア限定)

住宅版エコポイント申請
省エネ等級4の計算、チェック
構造検討
基本設計

フラット35S(20)申請
木造3階建構造計算
敷地調査・開発許可
N値計算



お気軽にご相談ください!

SPアーキテクトCADセンター

Call us ▶▶▶ 04-2959-7155 担当: 遠田 (エンダ)

〒350-1304 埼玉県狭山市狭山台1-10-1 FAX. 04-2958-1000 E-mail: enda@120.co.jp
株式会社SPアーキテクト 一級建築士事務所 第10533号